

群馬県立高崎工業高等学校 学校評価一覧表 (令和6年度版)

(別紙様式)

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1) 各学科・教科の編成するカリキュラムや実習・課題研究の取組について、90%以上の生徒が満足している。	○生徒の実態と進路選択に合致したカリキュラムの編成や、幅広い選択科目を設定する。	/	B	B	カリキュラムや学校生活に生徒は十分満足しており、資格取得等にも積極的に取り組んでいる。資格の取得については、生徒と保護者の結果に差異が出た結果、スコアが落ちており、生徒アンケートではB水準を達成している。来年度も継続して資格指導等に取り組み、生徒にとって結果が出せるように努めたい。	学習成果発表会については、1年をかけて準備し、発表できていればいい。また内容についても、興味をそえられる発表であった。	
		2) 学校生活が充実していると感じている生徒の割合は、90%以上である。	○課題研究や実験・実習において、各学科の特徴を活かすために各種競技会等に参加し、学習成果発表会を実施する。	/	B	B			
	2 資格取得や検定試験に向けた適切な指導を行っていますか。	3) 生徒が資格取得等に積極的に取り組み、1回以上検定試験を受験している。	○学科間を横断する指導体制を整え、効率良い指導を行う。 ○生徒の進路選択に対応した資格について指導・助言する。	/	A	A			
		4) 生徒の取り組んだ結果として、90%以上の生徒が1つ以上の資格を有している。	○学科間を横断する指導体制を整え、効率良い指導を行う。 ○生徒の進路選択に対応した資格について指導・助言する。	/	C	C			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	5) 生徒の実態を把握するための振り返りやアンケート等を授業で行っている教員が80%以上である。	○生徒の理解度や実態に即した指導を行う。 ○授業アンケートや振り返りシート等を活用し、生徒の実態把握に努め、指導内容の改善に生かす。	D	C	D	生徒の実態把握のための取り組みでは、職員と生徒で大きな認識の差が見られ、その結果が、基礎学力の向上についてのアンケート結果につながっていると捉えられる。しかし、学習活動に対する満足度や、コミュニケーション力を支える資質・能力に対する達成感が上がっており、普段の授業から実態把握ができているものと評価できる。	学校生活の中で生徒達が素晴らしい学習経験や体験ができていていることが感じられる。	
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	6) 専門教科と普通教科をバランスよく学び、基礎学力を向上させることで80%以上の生徒が学習に対し達成感や満足感を持っている。	○職員研修を実施し、職員の資質向上に努めるとともに、新学習指導要領に即した授業や教材内容等を精選する。 ○全職員対象の授業参観・教員相互の公開研究授業を実施する。	/	B	B			
	5 生徒の学び合いの充実に重点を置いた指導を行っていますか。	7) 自分の考えや意見を相手に伝えるときに、相手の意見に耳を傾け、仲間と協力し合って活動することができる生徒が80%以上である。	○生徒の自主性を尊重し、生徒同士で話し合いが進められるよう指導・助言を行う。 ○3年生全員が学習成果発表会で各々の研究発表を行う。	B	B	B			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	8) 職員会議や学年会議・科会議等において、生徒に関する情報交換を月3回以上行っている。	○定例の職員会議や学年会議・科会議等で情報を交換し共有する。	C	/	C	いじめ防止基本方針の周知・理解は一層の努力が必要となるものの、普段の生活観察や、その延長にある対応・指導は速やかに行われており、他の項目にある学校生活への満足度にも繋がっているものと考えられる。 事故件数については一昨年度・昨年度と増加し続けており、特に1、2学期共に自転車事故が多い。ヘルメットの着用および、年度当初の指導と合わせて継続した指導が求められている。	防犯については、学校で不審者への対処方法等を用意喚起してほしい。 交通事故が増えているので、生徒への意識付けについて、学校からも生徒達に強く指導してほしい。	
		7 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	9) 職員や来校者に積極的に挨拶ができる生徒が90%以上である。	○全職員で協力し、朝の玄関前挨拶指導・校門前指導を行う。 ○職員が継続的に授業や廊下等で声かけ等を行い、生徒自ら挨拶できるよう働きかける。	A	A			A
			10) 生活アンケートから、気になる事例が発見された際、対応を始めるまでの期間が3授業日以内である。	○教育相談会議などで、情報交換を図る。 ○スクールカウンセラーの活用を生徒・保護者・職員に周知する。 ○学期ごとに生活アンケートを実施する。 ○カカカカによる「こころの教育事業（講演会）」を各学年に実施し、良好な人間関係作りに努める。	A	/			A
			11) いじめへの早期対処に努め、事例の把握から対応し始めるまでが2授業日以内である。	○発生時の事実確認を組織的に行う。 ○該当者の人間関係を踏まえ、担任・副担任・学年主任だけでなく、各科主任・部活動顧問・教育相談係等も担当として組織する。	A	/			A
	8 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	12) 「いじめ防止基本方針」について、80%以上の生徒、保護者が理解している。	12) 「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた取組を計画的に行う。	○「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に向けた取組を計画的に行う。	/	D			D
		13) 部活動に加入している生徒のうちの80%以上が、意欲的に活動している。	13) 部活動に加入している生徒のうちの80%以上が、意欲的に活動している。	○全職員を部活動に配置し、互いに協力して積極的に指導する。	B	C			C
14) 生徒の安全な登下校のために、交通指導を定期的に行い、交通事故の割合が前年以下になっている。	○雨天時のカッパ着用指導や自転車マナー指導、ヘルメット着用指導を定期的に全職員で協力して実施する。		D	/	D				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	15) 進路関係の行事やガイダンスを各学年とも年5回以上ずつ実施する。	○生徒の成長や進路意識に応じたガイダンスや講話などを計画的に実施する。	A	/	A	生徒の進路実現のために、年間に多くの進路関係の行事やガイダンスを行っており、その結果、生徒自身の進路決定への努力につながっていると考えられる。一方で保護者アンケートからは、低学年次における保護者向けの進路説明に対する需要が高まっており、改善の余地があると思われる。	PTAや同窓会が協力している模擬面接会については、今後とも継続して行ってほしい。	
	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	16) 自分の進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が80%以上である。	○OPTA・同窓会の協力による模擬面接会を実施する。 ○希望する企業や進学先について生徒が自ら研究できるよう指導・助言をする。	A	B	B			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	17) PTAの諸行事に、50%以上の保護者が参加している。	○PTAの諸行事は、感染対策を徹底し、分散開催にて実施する。	/	A	A	PTA行事への取り組み、ボランティア活動、ホームページでの情報発信はいずれも目標を大きく達成した。より地域に開かれた学校となるべく、目標設定を見直し、取り組んでいきたい。	PTAと学校の協力により、左記の結果が出ているのでよかった。	
		18) 地域と関わり合いのあるボランティア活動を年5回以上行っている。	○各部活動や委員会等で、地区の行事に参加・協力をする。	A	/	A			
		19) HPでの情報発信を月5回以上行っている。	○HPを頻繁に更新し、学校の情報を発信する。	A	/	A			
VI 教育デジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	20) ICT機器を用いた授業等の取り組みについて、80%以上の生徒が満足している。	○ICT機器を用いて、生徒の活用能力の把握に努め、新学習指導要領に即した授業等における課題配信や採点など活用方法の改善を進める。	/	A	A	教育のデジタル化については、授業・業務を改善する手段としてICTを用いてきた。各目標は達成されているが、日々新しいシステムや活用方法が出てきているので、本校の教育活動により適したものを取り入れ、改善していきたい。	新しい時代に対応した人材が育成できるように今後とも努めてほしい。	
	13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	21) ICT機器を活用して、アンケート集計などの業務を学期ごとに3回以上行っている。	○ICT機器を用いて、各種アンケートや学習状況調査等を実施する。	A	/	A			